

三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト アクセラレーション業務 特記仕様書

1. 目的

三河安城駅周辺で行う「まちをつかってつくる」取組として開始した「三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト（以下、「MAPP」という。）は、活用されておらず活動者不在だったまちを、「三河安城をつかいきっているビジョン」の下、様々な立場の活動者ととも三河安城に関わり続けるために必要な機能を探求している。

ここでの「関わり続けるために必要な機能」とは、単に住み続けるために「日常の利便に寄与する機能」といった「住む人」だけをターゲットにしたものではない。

活動者をターゲットとする給排水施設や電源などの「活動を豊かにする（＝高次の活動に挑戦できる）機能」、同様にトレーラーハウスや金網、バスケットコートなどの「継続的に高次の活動に挑戦できる機能」、就労者等をターゲットとするフリーWi-Fiスポットや情報配信板などの「滞在するきっかけとなる価値の付与」、新たな出店者等をターゲットとする人流センサーや自動車交通量センサーなどの「活動のきっかけとなるデータ収集機能」、ステークホルダーをターゲットとする公共的空間使用申請等の自動化などの「まちを無理なくつかい続けられる仕組み」、そしてまちに関わる人を幅広くターゲットとするマチナカプレイスメイキングのPRポスターや三河安城PR自販機などの「関係づくりのきっかけとなる目的の視覚化機能」といった有形無形の機能がこれにあたる。

ここで「活動者」に注目すると、昨年度までの活動により、少しずつ活動者が増え、対話のプラットフォーム「つかう.meet」が対話だけでなく共同活動を行い、これらによってさらに活動者が増える、「まちをつかう」好循環が形成されつつある。しかし、まず活動することに重きを置いたため、活動者相互や参加者向けに目的意識の共有が十分なされていなかった。また「滞在者」に視点を合わせれば、少しずつ増えていった「まちをつかう」取組に参加される方々も同様に増えたものの、活動自体の認知が思うように進まなかった。以上を踏まえ、MAPPで少しずつ育ってきた「まちをつかう」好循環の強化及び活動目的の共有に加え、活動自体への参画が促せるような「活動者」と「滞在者」の関係づくり（関わりあうしかけづくり）を出発点とする取組が重要である。

以上より、本業務は、三河安城駅周辺の活動者を誘引できる好循環を持続・向上させること、現在取り組む「まちをつかってつくる」取組における目標を具現化した「まちをつかいきっているビジョン」よりも高次のMAPPの目的意識を醸成すること、そして「活動者」と「滞在者」の関係づくりを行うこと、これら3つを実現し、MAPPを加速させることを目的として取り組むものとする。

そして、この業務目的に達するため、「関係づくりのきっかけとなる目的の視覚化機能」を強化する「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいまちのデザイン」のコンセプト（以下、「デザインコンセプト」という。）と、「三河安城駅周辺の、継続的に高次の活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案（以下、「プレイアブルプレイス」という。）を、「活動者、滞在者参加型のフォーラム型コンペ（以下、「フォーラム型コンペ」という。）により収集、取りまとめることを戦略的に取り組む業務と位置付ける。

2. 委託場所

三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画内のウォークアブル区域中央部（JR 東海道本線及び同新幹線に挟まれた領域内）

3. 履行期間

契約締結日から令和5年3月24日まで

4. 業務内容

(1) 各種計画・事業等の整理

三河安城駅周辺における各種計画（3Aプロジェクト、都市再生整備計画等）や、実施・検討されている各種事業・取組について把握整理する。極力民間の事業や取組も含めて整理する。

なお、本業務の前提として、以下の目的達成に向けた意識を進行上心がける。

【本業務の目的】

- ・三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクトを加速させること。
- ・三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画としての目的達成に寄与すること。
- ・新しいまちづくりのモデル都市としての目的達成に寄与すること。
- ・そのために、活動者を誘引できる好循環を持続・向上させること。
- ・「まちをつかいきっているビジョン」より高次な本プロジェクト目的意識を醸成すること。
- ・「活動者」と「滞在者」の関係づくりを行うこと。

(2) 本業務遂行に向けた課題と論点の整理

基本方針を検討するうえで課題を整理する。また、「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいくなるまちのデザイン」、「三河安城駅周辺の、継続的に高次の活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案」を公募していく上で、かつ社会実験として実装していく上で重要な論点（ポストコロナのライフスタイル、都市間競争や都市間連携、まちをつかっている活動における位置づけ、安城市における三河安城駅の位置づけ、西三河における三河安城駅の位置づけ、日本における三河安城駅の位置づけ、エリアマネジメント、パブリックスペースの利活用、等の幅広い観点）を整理する。当該論点整理については、**企画提案の対象事項**として、企画提案書提出において必ず提案を行う。

【企画提案の対象事項】

- ・「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいくなるまちのデザイン」を公募していく上で、かつ社会実験として実装していく上で重要な論点とその考え方
- ・「三河安城駅周辺の、継続的に高次の活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案」を公募していく上で、かつ社会実験として実装していく上で重要な論点とその考え方
- ・フォーラム型コンペを開催する上で、重要な論点とその考え方

【評価の視点】

- ①三河安城マチナカ協創地区における課題が整理されているか。
- ②三河安城マチナカ協創地区における課題解決上有すべき視点(仮説)がよく検討されているか。
- ③まちづくりの進め方について、基本的な考え方が示されているか。
- ④③について、新しいまちづくりのモデル都市の取組概要と一致し、また向上されるものとなっているか。
- ⑤③について、三河安城マチナカ協創地区都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）と一致し、また向上されるものとなっているか。

(3) デザインコンセプトのとりまとめ

デザインコンセプトは、「三河安城駅周辺の、将来のみんなで使い続けたいまちのデザイン」のコンセプトであり、みんなで共有にすべきビジョンに育てるための出発点として位置づけるものである。

【本業務で取り組むこと】

- ① テーマをもって、「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいまちのデザイン」を公募すること（公募、収集されたものを、以下「公募デザイン」という。）。
- ② 公募に際し、少なくとも以下が読み取れ、審査ができるよう整理すること。
 - ① 「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいまち」のキャッチフレーズ
 - ② キャッチフレーズにつながるキーワード、ストーリー
 - ③ 機能や設え、まちのデザイン
 - ④ 人が③を使っている様子
- ③ 「フォーラム型コンペ」における「デザイン部門」として公募すること。ただし、名称は指定しない。
- ④ 公募デザインの中から、優秀な提案（以下、「優秀デザイン」という。）を選定すること。
- ⑤ 公募デザイン及び優秀デザインの長所を重ねた、デザインコンセプトをとりまとめること。
- ⑥ 公募デザイン、優秀デザイン、デザインコンセプトをまとめた資料（以下、「デザインブック」という。）をとりまとめること。

【本業務のアウトプット】

- ① フォーラム型コンペで得たすべての公募デザイン
想定する役割：(5) フォーラム型コンペの運営により、収集を図る。
- ② ①で審査を経て改良（もしくは補足）された優秀デザイン（3提案を想定）
想定する役割：(5) フォーラム型コンペの運営により、審査を行い絞り込み作業を行う。
- ③ デザインコンセプト
想定する役割：(5) フォーラム型コンペの運営と並行し、提案内容のとりまとめを行う。
三河安城駅周辺の、将来のみんなで使い続けたいまちのデザインのコンセプトとして、デザイン性を意識しながら整理を行う。この整理で、「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいまちのデザイン」のコンセプトとして、少なくとも以下5点が説明できるようとりまとめを行う。
 - ① 「三河安城駅周辺の、みんなで使い続けたいまち」のキャッチフレーズ
 - ② キャッチフレーズにつながるキーワード、ストーリー
 - ③ 機能や設え、まちのデザイン
 - ④ 機能や設えの実現化手法（推進施策、過程などを想定。）
- ④ ①から③を一冊にまとめたデザインブック
想定する役割：デザインコンセプト、公募デザイン、優秀デザインをみんなで共有し、本業務の目的を達成する資料として、1冊の資料としてとりまとめを行う。

※なお本項目の①②③については、次年度に活用するため12月下旬までに成果を提出。

なお、以下に企画提案の対象事項、評価の視点について列挙する。ただし、本内容については、企画提案書により、より三河安城駅の実情に即した内容に変更することを期待する。

【企画提案の対象事項】

① 位置づけ

まちをつかいきっているビジョン、本業務で定める「デザインコンセプト（=ここではビジョンと同意。）」との関係について、必ず提案すること。

② 対象場所

三河安城駅在来線南口広場から（都）安城幸田線を含むウォークアブル区域を想定しているが、必要に応じて提案すること。

③ 公募テーマ

30年で培った現在のまちのデザインに、「みんなでまちをつかう」「ひとあつてのまち」「スポーツなどのブランドづくり」の新しい価値を視点として盛り込んだものを想定しているが、必要に応じて提案すること。

④ 公募ターゲット

個人を含む、三河安城に興味を持つ、幅広く人間を想定しているが、必要に応じて提案すること。

⑤ 公募時の提案資料

「本業務で取り組むこと②」記載事項を含む資料として A3 に必要事項をまとめたものと想定しているが、必要に応じて提案すること。

⑥ 優秀提案に対するインセンティブ

必要に応じて提案すること。

⑦ 社会実験として価値あるアウトプットを導くための創意工夫

参加者や提案が多く集まり、デザインコンセプト作成後も活動者が増えていくよう、提案すること。

⑧ スケジュール

「本業務で取り組むこと」から「本業務のアウトプット」が滞りなく作成されるよう、また参加者や提案が多く集まるよう提案すること。

【評価の視点】

以下を評価の視点とする。

- ① 「まちをつかいきっているビジョン」、「デザインコンセプト」、「みんなで共有にすべきビジョン」との関係の説得力（どの段階に位置づけられたビジョンか。また、その理由）。
- ② 公募ターゲット設定の説得力（まちをつかいきっているビジョンや現在の活動状況を踏まえているか、また新たな仮説に基づき定義されているか。）
- ③ ターゲットが広く公募に臨めるような動機付けができているか。
- ④ デザインコンセプト作成までのスケジュールが示され、特に公募において、現在の活動者の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。
- ⑤ 単年度ではなく、新しいまちづくりのモデル都市や都市再生整備計画の計画期間（5年）で増幅されるようなくみとなっているか。

(4) プレイアブルプレイスのとりまとめ

プレイアブルプレイスは、「三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案」であり、ウォークアブル区域内の三河安城暫定広場及びマチナカプレイス1で、おおむね5年間で駅前の公共空間のつかい方・あり方を改めるための社会実験として実施していくための基礎設計資料として位置づけるものである。

【本業務で取り組むこと】

- ① テーマをもって、「三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案」を公募すること（公募、収集されたものを、以下「公募プレイス」という。）。
- ② 公募に際し、少なくとも以下が読み取れ、審査ができるよう整理すること。
 - ① 「三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計」のキャッチフレーズ（コンセプト）
 - ② コンセプトがターゲットとする対象 キャッチフレーズにつながるキーワード、ストーリー
 - ③ 公募場所で試しに設置したい「三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計」
 - ④ 三河安城駅におけるニーズ根拠（近傍活動データからの仮説でもよい）
 - ⑤ 「三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計」のイメージ画
 - ⑥ 設置・運営にかかる基本的な考え方、計画、実現する力
- ③ 「フォーラム型コンペ」における「プレイアブルプレイス部門」として公募すること。ただし、名称は指定しない。
- ④ 公募プレイスの中から、優秀な提案（以下、「優秀プレイス」という。）を選定すること。
- ⑤ 優秀プレイスについて、その提案者と一緒に、前項で取りまとめる優秀デザインやデザインコンセプトの一部を反映させ、基本設計（平面図、立面図、展開図、断面図、工事費の概算がわかる状態）として作成すること。

【本業務のアウトプット】

- ① **フォーラム型コンペで得たすべての提案**
想定する役割：(5) フォーラム型コンペの運営により、収集を図る。
- ② **①で審査を経て改良（もしくは補足）された優秀3提案**
想定する役割：(5) フォーラム型コンペの運営により、審査を行い絞り込み作業を行う。
- ③ **②の基本設計成果**
想定する役割：三河安城駅周辺の、継続的に高次な活動に挑戦できる機能の実装に向けた設計提案として、次年度以降に実装が可能となるよう基本設計レベル（平面図、立面図、展開図、断面図、工事費の概算）の設計支援を行う。

※なお本項目の①②については、次年度に活用するため12月下旬までに成果を提出。

以下に企画提案の対象事項、評価の視点について列挙する

【企画提案の対象事項】

① 対象場所

三河安城暫定広場及びマチナカプレイス1（ウォークブル区域内）の一部。

② 公募テーマ

30年で培った現在のまちのデザインに、「みんなでまちをつかう」「ひとあつてのまち」「スポーツなどのブランドづくり」の新しい価値を視点として盛り込み、新しい価値の下「三河安城の駅前を試しながらつikai続ける」暫定的な土地活用をテーマとするが、必要に応じて提案すること。

③ 公募ターゲット

個人を含む、三河安城に興味を持つ、幅広く人間を想定しているが、必要に応じて提案すること。

④ 公募時の提案資料

「本業務で取り組むこと②」記載事項を含む資料として A3 に必要事項をまとめたものと想定しているが、必要に応じて提案すること。

⑤ 優秀提案に対するインセンティブ

必要に応じて提案すること。

⑥ 社会実験として価値あるアウトプットを導くための創意工夫

参加者や提案が多く集まり、機能実装後にも活動者が増えていくよう、提案すること。

⑦ スケジュール

「本業務で取り組むこと」から「本業務のアウトプット」が滞りなく作成されるよう、また参加者や提案が多く集まるよう提案すること。

【評価の視点】

以下を評価の視点とする。

- ① 本件で提案されるプレイアブルプレイスと、「まちをつかいきっているビジョン」、「デザインコンセプト」、「みんなで共有すべきビジョン」との関係の説得力（どの段階に位置づけられた取組か。また、その理由）。
- ② 公募ターゲット設定の説得力（まちをつかいきっているビジョンや現在の活動状況を踏まえているか、また新たな仮説に基づき定義されているか。）
- ③ 優秀プレイスをブラッシュアップできる設計力（基本設計レベルまで設計できる経験、能力）
- ④ プレイアブルプレイスとりまとめまでのスケジュールが示され、現在の活動者の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。
- ⑤ 単年度ではなく、新しいまちづくりのモデル都市や都市再生整備計画の計画期間（5年）で増幅されるようなくみとなっているか。

(5) フォーラム型コンペのとりまとめ

フォーラム型コンペは、「(3) デザインコンセプトの作成」で公募デザインから優秀デザインを抽出する作業、ならびに「(4) プレイアブルプレイスのとりまとめ」で公募プレイスから優秀プレイスを抽出する作業について、フォーラム形式及び公開コンペにおいて実施し、活動者を誘引できる好循環の持続・向上、プロジェクト目的意識を醸成、「活動者」と「滞在者」の関係づくりを効果的に進め、MAPP を加速させる社会実験として開催するものである。

フォーラム型コンペの進め方は、企画提案書により、より三河安城駅の実情に即した内容に変更することを期待する。

【本業務で取り組むこと】

- ① 共通するテーマを設定し、公募デザイン及び公募プレイスを募集すること。
- ② 公募に際し、キックオフイベント、公開プレゼン審査の概ね2機会をフォーラム形式で行うこと。
- ③ フォーラム形式で行うイベントについて、以下が果たされるよう、話題提供やパネルディスカッションなどを行うこと。
 - ① 活動者を誘引できる好循環を持続・向上させること。
 - ② プロジェクト目的意識を醸成すること。
 - ③ 「活動者」と「滞在者」の関係づくりを効果的に進めること。
- ④ 公募の審査について、審査員を設定すること。
- ⑤ 審査は書面審査、公開プレゼン審査の2段階とし、このうち公開プレゼン審査についてフォーラム形式で行うこと。
- ⑥ キックオフイベントとしてのフォーラムの進行イメージを、以下のとおり例示する。
 - ① 開会の挨拶…安城市関係者より挨拶を想定する。三河安城駅周辺のまちづくりの動向を踏まえた、今回の取組趣旨説明を想定する。
 - ② 登壇者の紹介…キックオフイベントとして「まちをつかってつくる」の理解を深める話題提供（事例紹介を想定）、話題提供に基づくパネルディスカッション、デザイン部門／プレイアブルプレイス部門公募の趣旨説明、公募部門提案アイデアだしも含めたフリートークなどを想定。これに登壇する有識者を紹介。なお、ここでの有識者が、公開プレゼン審査における審査委員であることが望ましい。必要に応じて審査時のMC紹介を想定する。
 - ③ 「まちをつかってつくる」の理解を深める話題提供（事例紹介を想定）…審査委員長を想定。
 - ④ 話題提供に基づくパネルディスカッション
 - ⑤ デザイン部門／プレイアブルプレイス部門公募の趣旨説明…目的、応募の仕方、審査の流れ、審査方法、本コンペを踏まえた今後の進め方等の説明を想定する。
 - ⑥ 公募部門提案アイデアだしも含めたフリートーク…登壇者視点で、デザイン部門やプレイアブルプレイス部門で公募できそうなアイデアをフリートークで提供いただく。
 - ⑦ 閉会の挨拶…安城市関係者より挨拶を想定する。
 - ⑧ マチナカプレイスメイキングの実践…会場周辺の公共的空間で、集客型の社会実験を行う。

- ⑦ **公開プレゼン審査を含むフォーラム型コンペの進行イメージを、以下の通り例示する。**
- ① **開会の挨拶**…安城市関係者より挨拶を想定する。三河安城駅周辺のまちづくりの動向を踏まえた、今回の取組趣旨説明を想定する。
 - ② **審査委員の紹介**…審査委員の紹介、審査委員長の紹介、必要に応じて審査時のMC紹介を想定する。
 - ③ **審査委員長の挨拶**
 - ④ **審査方法等の説明**…審査の流れ、審査方法、本コンペを踏まえた今後の進め方等の説明を想定する。
 - ⑤ **デザイン部門のプレゼン**…1提案6分（発表2分、質疑3分、準備1分）×5作品程度を想定する。
 - ⑥ **デザイン部門の審査**
 - ⑦ **プレイアブルプレイス部門のプレゼン**…1提案10分（発表5分、質疑4分、準備1分）×6作品程度を想定する。
 - ⑧ **プレイアブルプレイス部門の審査**
 - ⑨ **表彰式**…各部門の優秀提案者より一言。
 - ⑩ **プレゼン審査の総評**…安城市関係者より挨拶を想定する。今回の取組を踏まえた今後の進め方等について説明（デザインコンセプトの作成やプレイアブルプレイス部門の実現等）
 - ⑪ **閉会の挨拶**

以下に企画提案の対象事項、評価の視点について列挙する。

【企画提案の対象事項】

① フォーラム型コンペのテーマ設定

「本業務で取り組むこと①」を基に、フォーラム型コンペを行うキーワードを提案すること。

② フォーラム型コンペの機会設定

「本業務で取り組むこと②」とするが、必要に応じて提案すること。

③ フォーラム型コンペで行う話題提供機能の設定

「本業務で取り組むこと③」を基に、取組の方向性、取組みの例示を提案すること。

④ 三河安城駅パワーアップ再生プロジェクトの加速化効果

① 活動者を誘引できる好循環の持続・向上の実現にどう寄与させるのか

② プロジェクト目的意識を醸成の実現にどう寄与させるのか

③ 「活動者」と「滞在者」の関係づくりの実現にどう寄与させるのか

⑤ 社会実験として価値あるコンペ型フォーラムを導くための創意工夫

本取組では、参加者や提案が多く集まり、機能実装後にも活動者が増えていくことが強く求められる。多くの人にコンペに参加してもらえる発信方法などについて、必ず提案すること。

⑥ 審査員の設定

「本業務で取り組むこと④」を基に、人数、選定の方向性、構成を想定する審査員の例示、各審査における公募者とのかかわり方について、提案すること。

⑦ 審査方式の設定

「本業務で取り組むこと⑤」とするが、必要に応じて提案すること。

⑧ つかう.meet やつかう.meet の共同活動との連携

必要に応じて提案すること。

⑨ ステークホルダーを巻き込む考え方

必要に応じて提案すること。

⑩ スケジュール

「本業務で取り組むこと」が滞りなく実施されるよう、また参加者や提案が多く集まるよう提案すること。

【評価の視点】

以下を評価の視点とする。

- ① 運営方法が創意工夫に満ちているか（多くの活動者にコンペ参加を働きかける工夫、活動者・つかう.meet・つかう.meet の共同活動との連携に関する提案、ステークホルダーとの連携に関する提案）。
- ② 審査の枠組みが明確に提案されているか（広く若しくは三河安城の現状に合致した審査員について提案でき、かつコネクションを有し、審査に参画いただける確実性を有するか）。
- ③ フォーラム型コンペのスケジュールが示され、現在の活動者の動向などに配慮されたスケジュールとなっているか。
- ④ 単年度ではなく、新しいまちづくりのモデル都市や都市再生整備計画の計画期間（5年）で増幅されるようなくみとなっているか。

(6) 報告書作成

上記(1)～(5)をとりまとめた報告書を作成する。

(7) 打ち合わせ協議

打合せは業務着手時、中間(6回)、成果品納入時の計8回を予定しているが、業務の進捗状況に合わせ、必要に応じて適宜実施するものとする。

また、打合せ後は速やかに打合せ議事録を作成し、発注者に了承を得て、業務に手戻りが生じないようにする。

5. 成果品

項目	サイズ	成果品数		
(1)報告書	A4版		2部	原稿一式
(2)打合せ記録簿	A4版		1部	原稿一式
(3)電子データ		CD-ROM		一式

* 電子データの形式は、作成元ファイルとPDFファイルとする。図面の作成にあたりGISを使用した場合は、作成元ファイルのほかにMXDファイル及びPDFファイルを提出すること。設計においてCADデータを使用した場合は、以後の設計・整備に支障がないよう、DWGファイルおよび積算資料を提出すること。

6. 管理技術者、照査技術者、担当技術者

(1) 管理技術者

管理技術者は、本業務の履行にあたり、本市が実践する協創のまちづくりに類似した業務の実施経験者であり、日本語に堪能でなければならない。

管理技術者は、下記の業務実績をそれぞれ1件以上有していること。

- ① 地方公共団体等より発注されたエリアマネジメントに係る業務実績
- ② 地方公共団体等より都市計画マスタープランの策定に関する業務実績
- ③ 地方公共団体等より都市計画分野におけるまちづくりに寄与する社会実験の支援に関する業務実績
- ④ 地方公共団体等より都市計画分野におけるプラットフォームづくりに関する業務実績

(2) 照査技術者

照査技術者は、本業務の履行にあたり、本市が実践する協創のまちづくりに類似した業務の実施経験者であり、日本語に堪能でなければならない。

照査技術者は、下記の業務実績をそれぞれ1件以上有していること。

- ① 地方公共団体等より発注されたエリアマネジメントに係る業務実績
- ② 地方公共団体等より都市計画マスタープランの策定に関する業務実績
- ③ 地方公共団体等より都市計画分野におけるまちづくりに寄与する社会実験の支援に関する業務実績
- ④ 地方公共団体等より都市計画分野におけるプラットフォームづくりに関する業務実績

(3) 担当技術者

本業務における主たる担当者は、本業務の履行にあたり、業務目的にある「活動」や「対話」等のコーディネートに関する業務経験を有し、本市が実践する協創のまちづくりに類似した業務の実施経験者であり、日本語及びプレイスメイキングなどの「まちをつかう」取組に堪能でな

ればならない。

担当技術者は、地方公共団体等より発注されたエリアマネジメントに係る業務実績を1件以上有すること。

担当技術者のうち、(4) プレイアブルプレイスのとりまとめを担当する者は、地方公共団体等より発注されたストリートデザインの修景設計や公共空間等の基本設計業務に係る業務実績を1件以上有すること。

7. その他

- (1) この要領に定めのない事項については、別途監督員と協議するものとする。
- (2) 成果品引渡し後においても、成果品の修正等の必要が生じた場合は速やかに対処しなければならない。
- (3) 本業務に用いる考え方及び計算手法等については、その根拠を明確にするとともに、使用した文献についても報告書に明記するものとする。
- (4) その他、本業務の遂行にあたり疑義が生じた場合は、監督員と協議し決定するものとする。

以上